

2020年8月7日

「緊急！大学生・院生向けアンケート」大学生結果報告

全国大学生生活協同組合連合会
広報調査部

1. はじめに

新型コロナウイルスへの対応で日本中が混乱する中、大学生の生活も大きく変容しています。私たち大学生協は、今後の大学生活のありようや大学生協として取り組むべきテーマを具体化するために、4月に「緊急！大学生・院生アンケート」に取り組み、学部生3万5千名以上、5月に1万4千名を超える方からご協力いただきました。

今後の学生の状況と心境の変化を把握するために、第3弾として7月もアンケートを実施し、9千名を超える方からご協力いただいております。アンケート結果を公表することにより、この状況下にある大学生・院生への理解を深めていただき、今後の大学生活の向上につながることを願っています。

2. アンケートの概要

このアンケートは、全国大学生協連、2つの大学生協事業連合、各大学生協のホームページや、生協利用者へ拡散を呼びかけて募集したWebアンケートです。調査対象は全国の大学生、大学院生で、調査期間は7/20（月）～7/30（木）です。

- ・調査方法 Web 調査(大学生協ホームページや生協利用者へ拡散をよびかけて回答を募集)
- ・調査対象 全国の大学生、大学院生
- ・調査期間 7/20(月)～7/30(木)
- ・回収数 大学生(学部生)9,086 回答
4月も回答3,149名、5月も回答2,643名・初回答5,616名(前2回とも不参加と不明の合計)
- ・アンケート結果についての注意点
 - ※匿名性による学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性があります。
 - ※「学生の消費生活に関する実態調査」や「保護者に聞く新入生調査」の調査方法(全国大学生協連会員生協の組合員から無作為に調査対象を抽出)と異なり、回答数の多い大学や学年があるなど、アンケート結果の代表性は明らかにできません。

3. 大学生向けアンケートの自由記入欄に寄せられた声

(1) アルバイト収入減少による不安とアルバイト先での感染不安が多く寄せられています。

アルバイト収入は「収入がもどってきた」が約17%（5月約6%）と回復しつつあるが、「大きく減少」「少し減少」は約31%（5月約43%）の学生が回答し、依然としてアルバイト収入は減少しています。

【自由記入欄より】

- 塾で働いているが、感染拡大防止のために休みにして欲しい。緊急事態宣言が出ている間も通常通り出勤していた。(私立大3年生女性・自宅生)
- 観光客の接客や食器の洗い物をするので新型コロナ感染が怖い。(国立大1年生女性・一人暮らし)
- アルバイトの募集が再開されても、場所が大阪市内だと感染リスクが高く、なかなか勤務する気になれない。アルバイトに行くとコロナに感染すると、第一の基本の学業が疎かになってしまう。(国立大3年生女性・一人暮らし)

- なかなかバイトに入れないので、貯めてたお金が生活費等でかなり減っていく。(国立大2年生男性・一人暮らし)
- あったはずの仕事がどんどんなくなり、去年の今頃と比較すると、10分の1ほどの収入です。(私立大4年生男性・一人暮らし)
- 塾のチューターをしているが、勤務ごとに生徒と多数接するので、感染の不安はある。(国立大4年生男性・自宅生)
- コロナ流行前は、昼のバイトを3つ掛け持ちしていたが、廃業や休業してしまった。そのため前と同じくらい稼ぐには夜の街関連しかないので困っている。(私立大2年生女性・一人暮らし)
- 一時期アルバイト先が休業し、収入が0となった。また、現在は感染者が非常に少ない地元にいるが、京都に戻ってアルバイトをすることが不安である。ずっと休んでいることも出来ないため、アルバイトを辞めようと思っているが、今後新しいアルバイトが見つかるか不安である。(私立大2年生女性・一人暮らし)
- 実家に帰ってきているため、もう3か月ほどバイトに行けていない。辞めたわけではないので所属はしているが、バイト先に迷惑をかけているのではないかと心配だし、コロナ以前の分のお給料(手渡し)をもらえていない。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- 居酒屋で働いていて、お店は再開しているが感染リスクを考えると働くのが怖い。でも働かないと収入がない。(国立大4年生女性・自宅生)
- 接客を伴う仕事なので正直怖い。家に高齢者がいるので感染したらと思ったら寒気がする。(私立大2年生女性・自宅生)
- 飲食店のアルバイトをしているが、最近人が戻ってきた。だが全国の感染者数も増加しているので、正直怖い。(国立大4年生男性・一人暮らし)
- 居酒屋でバイトをしており、大声を出している客が少なからずいたりするので、感染防止の対策を店側がとっていても感染者を出してしまう、または自分が感染してしまうリスクが高まってしまうことが心配である。ただし、今居酒屋で働くとはそのようなリスクを負うことが必ずつきまとうため、葛藤するところでもある。(国立大2年生男性・自宅生)
- イベント関連の派遣アルバイトをしているが、イベント自粛がまだ続き、仕事量が減っている。前期は金稼ぎができていないし、夏休みに時間があるので、新しいアルバイトを夏休みに始めようと思っているが、コロナが怖くてためらっている。(国立大2年生男性・一人暮らし)

(2) 経済的な不安や悩みが多く寄せられています。

学生支援緊急給付金や大学の給付型奨学金の活用はされていますが、多くの学生は受給しておらず、経済的な不安や悩みが寄せられています。

【自由記入欄より】

- 両親が共働きでギリギリ奨学金に引っかからない経済状況で、どこからも支援が受けられなかった。大学進学を控えた弟妹がいるため、親からの追加支援は見込めない。学生支援給付金などは奨学金をもらっている人しか応募資格がなく、奨学金を貰わずギリギリ頑張っている層への保障がなにもない。本当にしんどい。奨学金をもらっている子たちと同じくらい(アルバイトの頻度的にはそれ以上)頑張っているのにになにもしてもらえない。感染リスクがある中必死でアルバイトをして、それでも給料が減って困っている学生は「収入が激減しているわけではない」と支援対象からはじき飛ばされる。最近特に不公平すぎてイライラする。
どこにこのような不満を書けばいいのかも分からないのでつらつらと書いてしまいま

- した。これを読んでいただく方には申し訳ないです。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- 学費と授業によって得られるものが釣り合いになっている。辞めたいが就職のことを考えると悩ましい。(私立大1年生男性・自宅生)
 - 実家の収入が明確に落ちているが、アルバイトの収入が大幅に減ったわけではないため学生給付金が受けられない(私立大2年生女性・一人暮らし)
 - アルバイト代は減っているが親の年収には影響がないので奨学金を受けられない。自営業の親がいる学生は親の収入が減ったことにして給付を受けていたので不公平だと感じた。(私立大4年生女性・一人暮らし)
 - 貸与型の給付金を利用したいが、すでにかかなりの額を借りており、これ以上借りると社会に出てから大変になると考えており、利用をしていない。アルバイトもあまりできなく、親からの仕送りも見込めないで、食費を削って生活をしている。いつまでこの状況が続くのか非常に不安である。(国立大4年生男性・一人暮らし)
 - 母子家庭であり、さらにバイトの収入もないのに、授業料や施設料、維持費を通常通り取られるので、大学をやめる話が毎日親からされて辛いです。(私立大3年生女性・自宅生)
 - 奨学金制度を受けられる身でもない上に、元からアルバイトをしていない人間は受給対象には入っていなかったため、バイトも見つからず、収入もなく、それでもオンライン授業環境を整えるための出費がかさみ大変苦しい状態です。(私立大1年生女性・自宅生)
 - 経済状況が悪化した学生向けの支援の締め切りが過ぎた後に、親のボーナスの発表があり、固定費を除いた額が1/10まで減少したことが判明した。すぐに学費が払えなくなるなどのことはないが、家電の買替え、教科書類の購入、自動車免許の取得などはとてもできる状況ではない。(国立大3年生女性・自宅生)
 - 給付金の多くは下宿が前提で、実家にいながらもバイトを掛け持ちしないと教材費を払えない私のような立場が無視されていると感じる。(国立大1年生女性・自宅生)
 - 親からの支援を学費の方で受けていたり、親の収入がある程度あるという理由で、全ての給付金などはダメだった。どこも学生を救う気はないのだな、と思った。(国立大2年生男性・自宅生)
 - 国や大学の緊急支援金は、主にアルバイトで生計を立てている人に対し、そのアルバイトでの収入減や家計の急変に対応するものであるもので、慢性的に家計が苦しいという状況では使えない。わたしの場合、大学入学時から奨学金を受給しているが、アルバイト先は大学である。大学では原則として授業期間に半期ごとの契約となるため、「コロナ流行前の収入」と「コロナ流行後の収入」の比較ができず、流行後の方が収入減になっているがそれを証明する手段もない。また、アルバイトは学費の足しにしているが、下宿先の家賃や学費は両親に払ってもらっており、現状は実家で生活しているため、家族に負担を強いてしまっている。家族が経済的に負担できる状況から緊急支援金の対象にはならないため、家族に対してとても申し訳ない。(私立大3年生女性・一人暮らし)
 - 国の学生支援緊急給付金を申し込みたかったが、今後親の収入の減少が見られると容易に予測出来るのに、まだ給与明細上では顕著に見られないため、申し込みなかった。今はまだ良いが、後期や来年以降の学費が払えるか不安である。(私立大3年生女性・一人暮らし)
 - 親に学費を援助してもらっていて、アルバイトも十分にできずずっと自宅でオンライン学習で申し訳ない気持ちでいっぱい。下にきょうだいもいるので甘えているように思う。後期もオンラインになるのなら休学して学費を稼いでから復学したほうが良い

のかもしれないと思っていたが、親から学費は心配しなくてもいいからがんばって通いなさいと言われた。大学で友人もおらず、一部ではオンラインで交流があるようだがもともと人見知りということや大学に入って初めて自分のパソコンを持ってののでまだ怖いというもある。生活すべてがしんどい。(国立大1年生男性・自宅生)

- 一人暮らしの人への給付金に応募したが、受給されず。それに対する理由もなければ可否もない。アルバイトの収入は大幅に減り、学費も返ってくるわけではない。勘弁して欲しい。(私立大4年生男性・一人暮らし)

(3) オンライン授業による課題の多さや心身への影響に不満の声が寄せられています。

オンライン授業の多くで課題が提示されており、「すべての授業で課題が提示されている」と約47% (5月約32%)の学生が回答しています。

【自由記入欄より】

- 4月からずっとオンラインなので、日が経つことに接続が悪くなっていき、授業に出席できないことも多々ある。また、課題が大量に出ており、それをこなすのに必死で一日中パソコン画面の前にいることで目も悪くなり肩も凝るなど身体的にも悪影響を及ぼしている。さらに精神的な面では、ずっと部屋に籠っているため、家族や友達との会話なども減り、ストレスが溜まりやすくなった。(私立大1年生女性・自宅生)
- 先生は自分の授業のことしか考えていないと思う。生徒側は多くの授業をとっており、それぞれ課題が出るため提出に追われている。先生が自分の授業のことしか考えていないと、生徒側の課題の量が適切ではなくなり、本当に学びたい内容を深めることができない。(課題を出すことが全てになってしまうと思う。)(私立大1年生女性・自宅生)
- 通常より課題が多く出ていますが、今までより時間があると言っても違いは通学時間だけですし、バイト等生きていくために必要なこともあるので、忙しさがすごいです。(国立大2年生女性・自宅生)
- それぞれの授業で独立して課題が出されるため、数が非常に多く、課題をこなすことが一日の主要な活動となってしまっている。そのため自主学習はままならず、生活習慣も完全に乱れている。また、授業によって課題の難易度が違いすぎるため、易しい課題が出される授業に関しては内容がちゃんと理解できているのか不安がある。(私立大2年生女性・自宅生)
- 動画を自分で見るだけで理解しづらい上に課題は毎日出て、自主学習をしたいが、全く出来ていないです。また、対面なら絶対に欠席はしないが、オンラインでは動画を見ると出席となる授業があるため、自分が悪いのですが動画を見るのを忘れてしまい欠席扱いになります。それがとても悔しいです、、、。(私立大1年生女性・自宅生)
- 授業をきちんとしてくれないのに、課題は大量に出ます。そもそも教科書を読んで全て理解できるなら、授業なんて必要ありません。大学へも行けず、勉強を相談できる先輩や友達もいません。こんな状況ですが、対面で行うテストもあります。それはそれで助かるのですが(不正ができないため)、テストができるなら他の活動も順次再開して欲しいと強く思います。学生の本業は勉強とはいえ、楽しいことは全て奪うのに学生の気味ばかり押し付けてくる大学が嫌いになりそうです。入った自分が悪いのですが、学費も時間も返して欲しいです。(国立大1年生・一人暮らし)
- 課題が多すぎてインターン参加の準備なんて無理。課題を片付けるのに必死で、学びを消化したり自分で調べに行ったりする余裕がない。課題のフィードバックがないので、自分の成績がどの程度になるか見通しが立たず、何を努力・改善すればいいか分からない。期末試験を夏休みにやるならもっと早く言ってほしかった。おかげで単位を諦めるしかない…。(国立大3年生男性・一人暮らし)

- 恐らく先生方も生徒が理解できているか不安になって課題を出してくれるが、ひとつひとつの講義の課題を合わせてみると、全体としてかなり多量になってしまうこと。成績評価に関わる授業内課題や小テストをオンラインで行うが、我々も不慣れな頃に何にも救済措置のようなものがなかったこと。(国立大2年生男性・一人暮らし)
- 課題が多すぎるし、普通の授業やったら、授業受けてコメントシート書くまでで90分やのに、授業の動画だけで90分をはるかに超えてるから、授業と考える時間とコメントシートを書く時間を合わせて90分に収めて欲しい。(国立大2年生女性・自宅生)
- 理解しづらい資料のみを配布して授業だとしているが、レポートの提出期限が短く、文字数がかかなり多いという問題がある。授業の質はかなり下がっているのに、課題は量が増え難くなっている。提出期限は短いのに、時間のかかる課題が多く、やってもやっても課題に追われるため、睡眠時間がかなり削られ、生活リズムが狂う。(私立大2年生男性・一人暮らし)
- すべての授業で課題が出るため学生の負担がかかなり大きいことを教授が把握できていない気がする。課題を出してもその評価がないため、期末試験などの対策が難しい。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- 毎週のように、3000字を超えるレポートの締切がある。そのレポートのために、必要な情報の整理や準備があり、相当の時間を有するにも関わらず、先生方は、他の科目との兼ね合いも考えることなく、課題を出している状態である。さらに、最終レポートを提示した後も、授業ごとのテストやミニレポートをなくさないため、切羽詰まっている。そして、資格の勉強や就活の準備が思うようにできていない。(私立大3年生女性)
- 全ての授業で課題が出るため、一つ一つ真剣に取り組もうとすると手が回らない。また、一つ一つの授業にかかる時間が異なるため、「授業を受ける」こと自体も課題になってしまう上、予定が立たない。また、動画配信がテキスト配布よりも遅れる授業があるため、その授業は本来の授業日に授業に取り組むことが難しく、結果として他の授業の受講にも影響が出る。中には、本来の受講日に授業を受けないと成績評価に響く授業もあるが、そういった情報を開示してくださる先生と開示してくださらない先生がいるので更にスケジュール調整が難しくなっている。(私立大3年生女性・一人暮らし)
- 勉強に対するやる気は周りの人の言動に左右されやすいと思いますが、オンラインでは他の学生がどのように勉強しているかが見えず、やる気を維持するのが難しいです。また、先生が話したことをただ覚えるだけの勉強になりがちで、そこから自分で考えて他者に伝えることができません。(国立大1年生女性・一人暮らし)
- ・オンライン授業の方が課題が多く、必ず計画通りに進めなければ片付かない。自分の教養の幅を広げるための課題ではなく課題を片付けるという『作業』になりつつある。
・先生方も大変だとは思いますが、ずっとパソコンと向き合っていると体調が悪くなるので自分には向いていない。
・これは個人的なことですが、オンライン授業は授業を受けているという感覚がなく、大学で受ける授業に比べやる気が出ない。(私立大3年生女性・自宅生)

(4) 今後の進路(就職・進学・インターン等)に関して、不安の声が寄せられています。

【自由記入欄より】

- 研究室配属がどうなるかの連絡が未だにこない。わたしは大学院に行くので関係がなかったが周りの就活組がコロナの影響で大学にも行けず先生に相談することもなかなか難しいため就活をやめ進学も選ぶ人もいる。中には他大の友達だが内定が取り消され仕方がなく進学を選ぶ人もいた。(公立大3年生女性・一人暮らし)
- コロナによって、友人や周りの就活生と情報を共有する機会がほとんどないことやオ

フライングでの企業説明会等が中止となり、情報を得る機会が減った事に困っている。

(公立大 3 年生女性・自宅生)

- 他の都道府県への就職を希望しているため、インターンシップに行きたくてもコロナの影響で移動が恐怖で、応募も出来ない。インターンシップが全てではないと思うが、インターンシップに行っていないがために、就職試験を落とされることもあるのではないかと怖い。
先輩とコミュニケーションを取って、就職に関して話を聞いたりしたいが、学校がないため会うこともままならず、4 年生も私たち 3 年生もそれぞれコロナの影響が大きく、話すことが難しい。(公立大 3 年生女性・自宅生)
- コロナのせいで出来なかった実験が夏休みにずれ込み、そのせいでインターンに行きづらい。インターンもやり方もよくわからないし、このご時世でさらに困惑していて情報不足。インターンや就職が本当に出来るのかかなり不安。(国立大 3 年生男性・一人暮らし)
- 自分たちの就活やインターンが対面なのか、オンラインなのか分からず、先輩方も経験されたことの無い事ばかりで頼る先が見つからない。(国立大 3 年生男性・一人暮らし)
- 行きたかったインターンの第 1~3 希望のところがすべて中止になった。説明会やインターンが中止で、仕事というものや雰囲気が全くわからない状態で、就職試験を受けるのが不安。(国立大 3 年生女性・自宅生)
- 課題が多くなりまた、夏休みがどうなるのかわからないので就活の情報すらあまり掴めないと同時に日程が分からないのでなんとかして欲しい。(国立大 3 年生男性・一人暮らし)
- オンライン授業により、大量の課題が出されていたため、資格や就職対策に時間を割くことができなかつたため、今後が不安。(私立大 3 年生男性・一人暮らし)
- 無気力感がすごく、自分の将来のイメージが持てない。理想はあっても自分に期待ができないので行動になかなか移れない。教採か就活かでも決めきれない。(国立大 3 年生女性・一人暮らし)
- 関東圏に行けない(行きたくない)ため、試験が限られてしまったこと。一次試験に限り、地方でも受けられるような措置をして貰えたらよかった。公務員試験の日程が変わったことでモチベーション等も薄れてしまい、良くない状態になってしまったこと。(国立大 4 年生女性・一人暮らし)
- 大学院入試に受かったら来年度からインターンシップに応募することになるが、その時に就活市場がどうなっているかは不安である。また、大学院入試で不合格だった場合、一般的な就活採用が終わった中で、ましてやこの新型コロナウイルス感染症流行による採用中止や採用人数減少の中で、就職先を探さないといけないのが不安である。
(国立大 4 年生男性・自宅生)
- 先ほども書いたが、コロナの影響で行きたかった企業が軒並み採用ストップになってしまい、悩んでいる。今も折れずに就活を頑張っているが、周りが終わってきて焦りもあるが自分のペースで頑張っていきたい。(私立大 4 年生男性・一人暮らし)
- 志望していた業界で採用停止が相次ぎ就職活動が予定より長引き、卒論に殆どとりかかれていない。また、卒論の為に大学や県の図書館に行つての資料集めが以前と比べて非常に困難な状態であると思う。(公立大 4 年生女性・自宅生)
- 就職活動が全く進まなくて困ってる。最近ようやく再開されたが、内定もらえないのでとても不安。誰かに相談したくてもみんな内定出ててどんな言葉も傷つく。(私立大 4 年生女性・一人暮らし)

(5) 社会・国に対して伝えたいことが声として寄せられています。

・GoTo トラベルキャンペーンが行われる中、自粛が続く大学生から不満の声が寄せられています。

【自由記入欄より】

- 最近、第2波と見られるような感染拡大が続いています。そのせいで、私たちの大切な大学生活がさらに奪われようとしています。なぜ、私たちの学習機会よりも観光・商業が優先なのですか？大人たちは自由に旅行などを楽しんでいるようだけれども、私たち大学生は、家での勉強を強いられ、課題を淡々とこなす日々を送っています。本来送れるはずだった大学生活の魅力が、完全に失われています。また、小中高は学校が始められているのに、なぜ大学だけ自粛のままなのですか？私たちの生活をもう少し考えて下さい。(国立大1年生女性・自宅生)
- 大学生ばかり我慢している。私たちだって対面授業を受けたい、友達に会いたい、遊びに行きたい。大人は飲み会に行き、大学生以外の学生は学校に行き、遊び、なぜ私たちは大学に行かせてもらえないのか、より質の良い授業が受けられないのか。耳を傾けて欲しい。布マスクなんていらぬ、Go To キャンペーンなんてなくていい。コロナが広がることで私たちが大学に行く日が遠くなる。やめてほしい。本当に早くコロナを収束させてほしい。(国立大1年生女性・一人暮らし)
- 新型コロナウイルスを収束させようとしているとは思えない。大学生はずっとオンラインで大学にも通えず、色々な経験も実習もできないのに、Go To トラベルで旅行を推進。一番自粛生活を続けている学生を何だと思っているのか。旅行代金の補助をするなら、所得制限など設けず、全学生の経済的補助をして欲しい。店舗には家賃補助、学生も住んでない下宿に家賃払ってます。(私立大2年生女性・一人暮らし)
- 政府の皆様、並びに一部の大人の方へ。「大学生=遊ぶだけの人」と思ってはいませんか？「大学=就職のための単なる通過点」と考えていませんか？どちらも大間違いですよ。大学は学問研究の場です。大学で養われた学問が今の日本を支えているのです。このことをわかっているならば、世間の自粛ムードが緩む中で大学生のみが自粛を強いられている現状に疑問符が浮かぶはずですよ。決して我々は、遊びたくてこのような訴えをしているわけではないのです。ただ「学びたい」と思っているだけです。旅行を促すことが、経済を回すために必要であることは理解できます。しかし、大学の優先度は旅行以下ですか。あまりにも教育を軽視しすぎです。先日大学でクラスターが発生したニュースがありましたが、いかにも「大学=悪」というかたちで取り上げられていたように思います。大学の重要性に早く気づいてください。(国立大1年生男性・自宅生)
- 社会人や高校生以下は通常の生活に戻りつつあるのに、大学生だけずっとオンライン授業。大学でクラスターが発生すれば大学名が晒される。大学生の活動は生産活動には関係ないので不要不急に思われるかもしれませんが、もう少し大学生の貴重な時間にも目を向けて欲しいです。(国立大3年生男性・自宅生)
- 社会人はコロナに注意を払いつつ様々な活動を再開しているのに、大学生には進捗がない。勉学や普通の日常が取り戻されない人がいる一方で、経済を回すためとはいえ娯楽(旅行)を推奨する政策が優先されるべきとは考えにくい。(私立大1年生女性・一人暮らし)
- 大学生だけが、家にとじこもっていて、不公平だと思います。家でできることももちろんあります。感染対策ということも十分理解できます。しかし、私たちの残りの大学生活は家の中だけで終わらせないといけないのでしょうか。(公立大4年生女性・自宅生)
- 小中高は学校が再開し、メディアは夜の街を取り上げるも自粛の強制はしていない、なんなら go to travel キャンペーンまで始まった。なぜ大学生は緊急事態宣言下と同じオ

ンライン授業を続けなければならないのか。楽しそうに登下校する小中学生の声を聞きながら、外にも出ず毎日授業と課題をひたすらこなすために、クラスメートとの繋がりもなく1人パソコンに向かって、これでストレスがたまらない方がおかしい。(私立大1年生女性・一人暮らし)

- ▶ 夜の街や、旅行は一定量許可されているのにも関わらずなぜ大学生は学校に行っていけないのかわからない。お金払ってまで勉強しようとしている若者たちの未来奪わないでほしい。なんとか、対策をして登校を認めてほしい。(私立大2年生女性・自宅生)
- ▶ なぜGotoキャンペーンはよくて、大学は入構制限がかかっているのか。納得できない。心細い。大学生として過ごす日々は、一度失うと戻れないものだ。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- ▶ 大学生は孤独と課題に押しつぶされそうになりながら日々生活していることをもっと知って欲しい。Twitterなどを利用して今の現状を訴えている大学生も多くいるが、その人たちに対して心無い言葉を投げかける人が多く、とても悲しく思う。今の社会に文句を言っているのではなく、現状を知って欲しいという思いが強いので、もっとメディアで取り上げて欲しい。(国立大2年生女性・自宅生)
- ▶ 医療系学生に強いられる自粛、強制が激しすぎる。感染対策はしっかりとってるのにいざ医療学生が感染したときの周囲の叩かれようがひどい。クラブや居酒屋に行く大人たちや若者が感染した時よりも私たちの方が批判される意味がわからない。私たちも1人の若者であり、若い時にしかできない経験をたくさんしたいのに(国立大4年生男性・一人暮らし)
- ▶ いろんな施策で経済を回すことも大事なのは承知しているが、さすがに大学生を置いてけぼりにしすぎなのではないか。毎日朝から学校・会社に行く家族と自分との差がとても虚しく感じる(私立大2年生女性・自宅生)
- ▶ なぜGo to キャンペーンがよくて大学の対面授業がダメなのでしょう。対面授業でしか伝わらないことがたくさんあると思います。私たちの大学生生活は4年間しかありません。学費と家賃だけが飛んでいき、刻々と大学生生活の日々は終わりに近づいています。大学の対面授業は必要だと思います。(私立大1年生女性・一人暮らし)
- ▶ 始まらないキャンパスライフ、実行されたGo To キャンペーン。経済あつてこそ国が成り立っていること。また、その国のおかげで大学という学びの場があることなど分かってはいるつもりだが、どうしてもやりきれない気持ちが私たち大学生の中にはある。小中高は対面の授業が始まっているし、会社だって無理に在宅ワークを続けているわけではない。しかし、大学は一向に始まらない。クラスターの報道だって大学がクラスターとなれば報道番組で吊上げられる。毎日毎日何百と感染者は増え続けているのになぜ大学ばかり？

大学生の子を持つ親だという人の大学生が大変な状況に置かれているというツイートのリプライには優しい言葉であふれている。それには少し安心した。しかし、大学生が大変な状況に置かれているという大学生のツイートのリプライには「社会人の自分の方が大変だ。」という謎のマウントや「そんなの大袈裟だ」「どうせ遊びたいだけだろ」などの心無い言葉。わざわざリプライする人はそういった言葉を吐く人ばかり。共感する隙さえ与えない。社会はそんなに大学生のことを信じられないのか。もう守られる立場ではなくなっているのは分かっている。しかし私たちだってずっと我慢しているんだ。耐えられなくなってこぼした愚痴に群がって袋叩きにする大人は嫌だ。勇気を振り絞ってあげた声を無視する大人も。(私立大1年生女性・一人暮らし)

以上